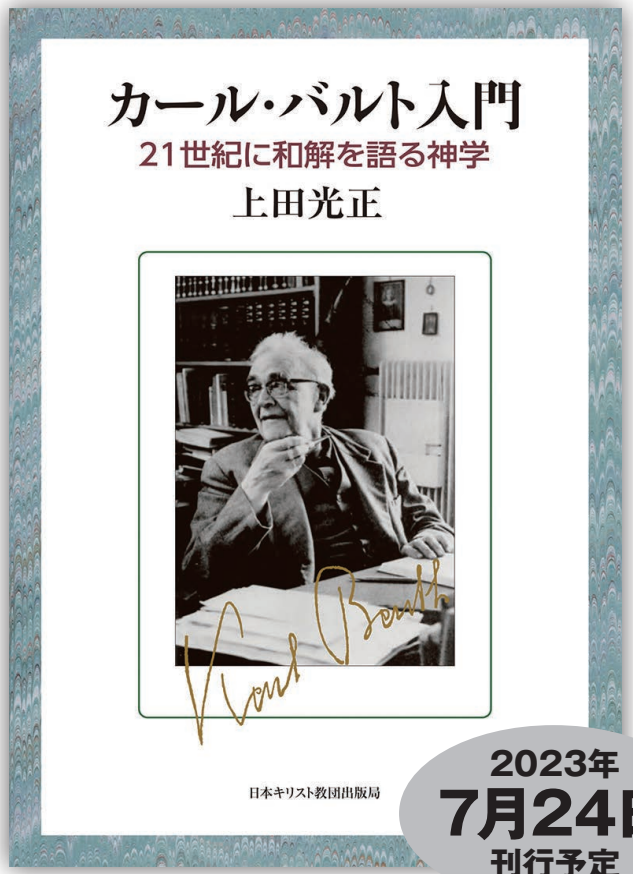
◆2023年7月の新刊　　日本キリスト教団出版局

カール・バルト入門

21世紀に和解を語る神学



2023年
7月24日
刊行予定

上田光正（うえだみつまさ）著

1942年、東京生まれ。1966年、東京神学大学大学院修士課程修了。1968年、東京大学大学院修士課程修了（哲学）。1968-1973年、ドイツ留学。神学博士号取得（組織神学）。帰国後、日本基督教団安芸教会、若草教会、美竹教会、曳舟教会牧師を歴任。現在は日本基督教団伊東教会協力牧師。

危機神学として日本の教会に多大な影響を与えたバルト神学。21世紀に入り、分断と対立が深刻化する今日、著者は「和解の神学」としてのバルトの価値にも目をとめる。バルト神学はお互いの正義をかざして裁きあう現代世界（万人の万人に対する闘争の世界）に対して福音なのである。

A5判・並製・176頁・定価2,640円（本体2,400円＋税）
ISBN978-4-8184-1139-5　C0016

目次

Ⅰ部　バルトにとっての啓示の意味
1章　バルト神学の揺籃
2章　『ロマ書』を中心に
3章　神学の形成を目指す歩み

Ⅱ部　バルトの福音理解について
4章　神とはどのようなお方か
5章　恵みの選びについて
6章　キリストによる神との和解
7章　神と和解させられた人間について
8章　バルト神学の今日的意義